

# しんあい

一般社団法人 愛媛県中小企業診断士協会  
発行人：会長 多田 稔  
編 集：広報委員会

〒790-0813 松山市萱町3丁目5-3  
TEL: 089-961-1640 URL: <http://shindan-ehime.com>  
E-mail: shinai@shindan-ehime.com

## 目 次

◆会長挨拶(多田 稔)	1
◆愛媛協会活動報告	2
・視察研修旅行記(二宮 隆貴)	3
・お仕事フェスタ参加報告(西下 郁馬)	3
・愛媛大学産業マネジメント特講(濱田 悠介)	3
・第14回定期総会 開催報告(小玉 和史)	4
・令和7年度中小企業診断士第1次試験 実施報告(井上 雄介)	5
◆入会ご挨拶(14名)	5



## 会長挨拶

会長 多田 稔

「しんあい 2025年 冬号」の発刊に際し、会員の皆さま、関係各位には平素より格別のご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

振り返れば、この一年は社会・経済の変化がさらに加速した一年でした。原材料や人件費の上昇、物流コストの増大など、企業経営を取り巻く環境は依然として厳しさを増しています。その一方で、生成AIやデジタル技術が急速に進展し、中小企業にとってこれを機会とみるか、脅威とみるか、時代の分水嶺に差しかかっています。私たち中小企業診断士には、こうした変化の波を正しく読み解き、経営者とともに最適な道筋を描く「現場の知恵」と「実践的支援力」がますます求められています。

さて、当協会は2024年に創立40周年

を迎える、この一年はいろいろな意味で節目の年となりました。



まず2024年6月には、長年親しまれてきた旧事務所を離れ、現在地(松山市萱町)へと事務局を移転いたしました。併せて事務局体制の一新を図り、業務の効率化と会員サービスの充実に向けた新たな歩みを始めました。不安が先行する中でのスタートでしたが、会員の皆さまのご理解とご協力をいただき、つがなく協会業務を遂行できております。心より感謝申し上げます。新体制のもと、より開かれた協会運営を進め、会員同士の交流促進、各種委員会活動の円滑化を図ってまいります。

また、当協会が実施主体となった「中小企業診断士第1次試験」事業も、本年で3年目を迎えました。今年度は過去最多の受験者数となり、安定した試験運営が定着しつつあります。試験実施に携わっていただいた多くの会員のご尽力により、円滑な運営を実現できましたことを、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

こうした取組は、地域における「診断士の裾野を広げる活動」として、当協会の存在意義を一層高めるものと確信しております。

今後の運営にあたっては、①会員間の連携強化と相互研鑽の促進、②若手・新

入会員の活躍機会の拡大、③地域支援機関・金融機関等との連携深化、④診断スキル向上、といった取組を軸に、各種研修や研究会活動を一層活発にしていきたいと考えています。

地方創生の要として、地域の企業支援を担う中小企業診断士の役割は、これまで以上に重要になっています。愛媛県の中小企業・小規模事業者の成長と地域経済の活性化に貢献できるよう、協会としてより一層取り組んでまいります。

会員・関係各位におかれましては、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 視察研修旅行記(神山まるごと高専 人間の未来を変える学校)

二宮 隆貴

愛媛県中小企業診断士協会会員の二宮と申します。今回は、コロナ禍終息後4年ぶりとなります2025年1月18日(土)～19日(日)の2日間実施した視察研修旅行について、ご報告させていただきます。

愛媛県中小企業診断士協会では、人口約5千人で奇跡の町と呼ばれる徳島県神山町にある学校法人神山学園 神山まるごと高等専門学校の視察をメインに会員5名で視察研修旅行を実施しました。

神山まるごと高等専門学校は、「モノをつくる力で、コトを起こす人」を目指す人物像として起業家精神、デザイン、テクノロジーを複合的にまるごと学習できる学校として2023年4月に開校した学校です。本校生徒は、将来のキャリアパスとして、一般、専門科目の授業の他に、出資企業の社員の方との共同プロジェクトなどの関りを通して就業経験も積み、起業等を目指しているのが特徴

です。

1学年40名程度で運営されていますが、全寮制で全国から志を持つ生徒が集まり、学費も5年間実質無料で学んでいます。神山まるごと高専の理念に共感した日本を代表する企業11社が出資し、講師も、実際の起業家が招聘されるなど実践的な学習を実施しています。生徒がやりたい事は、組成されている「チャレンジファンド」に申請し、スタッフ、生徒へのピッチを通じて過半数の賛成を得られた申請が予算獲得できるルールになっており、チャレンジ精神、公平な目を養う画期的な制度が導入されています。



1月18日(土)は、午後1時から、給食体験 学校概要説明 施設見学 在校生座談会の順に、「神山まるごと高専まるごと視察ツアー」に参加しました。視察や座談会等に実際に参加し、見て感

じた事は、まだ10代の生徒が、親元を離れ、地元地域と自然に溶け込み、受身ではなく、それぞれが自発的かつフラットに助け合いながら、身近な社会課題解決するための知識やスキルを学んでいる事でした。スタッフの方々の、指導、支援はもちろんの事、生徒たちのモチベーションを高めていくための応援を終わらせない、という精神をモットーとしているという話も印象に残っています。まさに私達が成長をサポートさせてていきたい起業家教育のあるべき姿を体感

する事ができたと思います。生徒さんとの座談会では、自身の10代の頃とは比較にならないほど、自分の意見と将来のビジョンをしっかりとプレゼンしていく姿に大変感動しました。



## お仕事フェスタ参加報告

西下 郁馬

2025年3月、「お仕事フェスタ」に中小企業診断士ブースで参加しました。

「お仕事フェスタ」とは未就学児から高校生までを対象に、さまざまな職業を紹介するイベントで、当ブースには1日で小中学生6名、高校生18名、保護者6名が訪れました。

他の企業のブースと比較して高校生の来訪が目立ち、特に商業科の生徒が多く来てくれました。また、適職診断で「コンサルタント」と出たことをきっかけに来た子どもたちも多く、仕事内容はもちろん、資格制度や試験日程、学習方法などについて熱心に質問をしてくれまし

た。

一方で「経営コンサルタントは知っているが、中小企業診断士は初めて聞いた」という声も多く、認知度向上の必要性を実感しました。また、「診断士バッジがかっこいい」といった意見もあり、興味を持ってもらうためには、見た目の印象も非常に大切であることを再認識しました。若い世代に中小企業診断士の役割や魅力を直接伝えることができる良い機会となりました。



## 愛媛大学産業マネジメント特講 ～中小企業診断士試験二次試験対応特別講義～

副会長 濱田 悠介

本講義は2020年度に愛媛大学社会共創学部の講義として実施され今年度で6年目となりました（2019年度に実施した講座も含めると7年目）。

講義の内容は二次試験の科目にあわせた「組織運営」「マーケティング」「生産管理」「企業財務」に加えて「食品マ

ネジメントシステム」「中小企業施策」と中小企業診断士に関するテーマを広く網羅します。4名の診断士で分担しており、私は「マーケティング」



と「中小企業施策」を担当しています。講義では単に知識を伝えるだけではなく、中小企業診断士ならではの視点、考え方、中小企業の特色などを盛り込み、資格や中小企業に対する学生の関心が高まるよう試行錯誤しながら取組んでいます。また、基礎知識の解説に加え、二次試験さながらの「ケーススタディ」を出題し、学生にチャレンジしてもらうことが本講義の1つの特徴です。

私の担当する「マーケティング」のケーススタディでは、「店舗の空きスペースをどう活用するか?」という設問があり、与件文に沿った模範解答は用意しつつも、学生視点でのアイデアが様々出てきやすい設問なので、ちょっと楽しみにしています。

こうした活動が若い方への資格認知度の向上に繋がれば幸いです。



## 第14回定時総会 開催報告

副会長 小玉 和史

令和7年6月、リジェール松山7F「シルバーホール」にて、愛媛県中小企業診断士協会 第14回定時総会が開催されました。

多田会長の挨拶に続き、令和6年度の事業報告・決算報告、令和7年度の事業計画・収支予算案が審議され、すべての議案が承認されました。

令和6年度は、事務局体制の刷新や事務所移転といった大きな変化を乗り越え、会員の皆さまのご協力のもと、円滑な事業運営が実現しました。

Web研修やリモート会議の定着により、情報提供・コミュニケーションの新たな形が根付きつつあります。

県内支援機関との連携も強化され、補助金審査、講師派遣、個別相談会、調査事業など、幅広い支援活動を展開しています。

愛媛大学との連携講義や「中小企業診

断士の日」イベントなど、啓発活動も活発に行われました。協力事業は21件にのぼり、食品ロス削減、障がい者支援、農林業経営診断、若者向けライフプラン支援など、地域課題への対応にも尽力しています。

会員数は正会員66名、賛助会員15社となり、新規加入者10名を迎えました。

登録更新研修会や四国ブロック会議の開催も含め、会員の専門性向上と交流促進に寄与しています。

今後も行政・金融機関・支援機関との連携を深め、中小企業・小規模事業者への支援を通じて、地域経済の活性化に貢献してまいります。

引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





## 令和7年度中小企業診断士第1次試験 実施報告

監事 井上 雄介

今年度の中小企業診断士第1次試験は、2025年8月2日・3日の2日間にわたり、全国10地区で実施されました。松山地区での開催は今回で3回目となります。初年度は香川県協会との共同運営、2年目は大阪府協会から試験対応アドバイザーをお招きし、着実に試験運営の経験を積み重ねてまいりました。

そして今年度は、愛媛県協会のみでの運営となりましたが、関係者の皆様のご尽力により、大きなトラブルもなく無事に業務を終えることができました。試験運営委員長を拝命し、至らぬ点も多々あったかと思いますが、多田会長、小玉副会長、試験事務局の元山様、永井様をはじめ、運営に携わってくださった皆様に

は心より感謝申し上げます。事前説明会から会場設営、当日の受験者対応に至るまで、スタッフの皆様には迅速かつ丁寧にご対応いただき、円滑な試験運営を支えていただきました。受験者が集中して取り組める環境を整えることができたのは皆様のお力添えのおかげです。



これまでの経験を活かし、今後もより良い試験環境づくりに努めてまいります。引き続き、試験業務へのご参加をいただけましたら幸いです。何卒よろしくお願ひいたします。



## 入会ご挨拶

岩本 航

2024年2月に入会させていただきました。岩本航（こう）です。

### ■経歴

1991年2月3日愛媛県出身です。愛媛県立松山南高等学校、愛媛大学教育学部を卒業後、愛媛県下の中小企業の経営を支援する団体の職員として働いております。また、経済団体の職員としても兼務しており、愛媛県下の様々な業種の経営者と一緒に事業を進めております。

### ■診断士を取得した経緯

経営を支援する仕事に就いたものの知識も乏しく説得力が皆無であったため、自己研鑽のために勉強を始めました。取得まで5年かかりましたが、毎年試験会場までバイクで行ったことや、広島県

の友人と再会できたことなど、今となっては良い思い出がたくさんできました。

### ■今後について

自己研鑽としてはじめたものでしたが、せっかく取得した以上フル活用したいと思います。



現在の仕事においては、以前よりも自信を持って取り組むことができており、相手からの相談件数も増えており、核心的な内容を扱うこともできました。

診断士としては、さまざまな事業に積極的に参加して、貴重な現場経験を増やしていくことを考えております。

現在、恥ずかしながら自分の得意分野というものを見つけられていない状態

です。これからはできるだけ多くの事業に参画して、新たな知識や体験を蓄え、強みを構築して、愛媛県下の中小企業の

発展に寄与していきたいと考えております。ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

西下 郁馬

皆さま、はじめまして。2023年11月に診断士登録、2024年2月に入会させていただきました西下 郁馬(にししたいくま)と申します。1996年生まれの29歳です。

### ■経歴・現在の仕事

広島県広島市出身で、大学進学で愛媛に来ました。大学卒業後は証券会社に1年半ほど勤め、証券の販売営業を経験しました。その後1年半の無職期間を経て、松山市役所に入庁しました。無職期間は米と卵食べ放題のシェアハウスに住んでおり、節約のため卵かけごはんばかり食べて過ごしていました。その間風邪は1回も引かなかったので、卵は万能な食品なのだと実感しました。松山市役所に入庁してから今年で4年目になり、現在の課では固定資産税の賦課業務を行っています。業務自体は地味ですが、市の重要な財源に関わる部署であり、非常にやりがいを感じています。

### ■診断士の取得経緯

コロナ禍で友達と遊ぶ機会も減ったことで時間を持て余し、ダラダラと過ごすくらいなら何か身になることをしようと思い、診断士の勉強を開始しました。1次試験、2次試験ともに「絶対に落ちた」と全く手ごたえがなかったですが、なんとか合格することができました。



### ■今後について

入会してから約1年半が経過しましたが、相談業務やセミナー等、様々な機会をいただき感謝しております。企業内診断士になりますが、これからも積極的に診断士業務を行って参りたいと考えています。まだまだ至らぬ点ばかりですが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

村上 和希

私は愛媛県西条市出身の村上和希と申します。1982年に生まれ、2002年に国立新居浜工業高等専門学校を卒業しました。前職にて長年にわたり小売業界で勤務し、店舗管理者として店舗運営や売上管理、従業員の教育に携わってきました。

中小企業診断士を目指したきっかけは、前職での店舗管理者時代に業務の中で経営に関わっていくうちに、もっと広

い視野で企業経営に関わりたいと考えるようになったことと、さらに外部に対しても身につけたスキルを活用して、企業支援を行いたいという思いへと繋がりました。その思いを形にするため、2024年に日本生産性本部の中小企業診断士養成課程を修了し、中小企業診断士として登録しました。



現在は、中小企業診断士として主に小売業、サービス業や製造業を対象に、店舗運営の改善やマーケティング支援、設備導入支援を行っています。また、商工会・商工会議所会員様や職員の方向けに各種セミナーを開催しています。

得意分野は店舗運営改善やマーケティング支援で、特に現場の状況を踏まえ

た具体的なアクションプランの提案が強みです。また、販路開拓における展示会出展支援をセミナー等を通じて行っています。

中小企業の経営課題を一緒に解決していくことで、中小企業に寄り添いながら共に地域活性化に貢献したいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

熊谷 和也

昨年4月に愛媛県中小企業診断士協会に入会させていただきました、熊谷和也と申します。

私は平成11年に地元企業に入社して以来、伊方発電所の放射線管理業務に従事してまいりました。長年、専門分野での業務に携わる中で、より幅広い視点からビジネス全体を体系的に学びたいという思いが強くなり、中小企業診断士試験に挑戦いたしました。

当初は知識の習得を主な目的としておりましたが、幸いにも合格することができ、昨年より中小企業診断士として登録させていただいております。しかしながら、診断士となって一年が経過した現在でも、実務経験の不足を痛感しており、まだまだ学ぶべきことが山積している状況でございます。

これまでの技術系業務とは大きく異なる分野でもあり、協会の皆様方の豊富なご経験と実務に根差したご知見から多くのことを学ばせていただきながら、一日でも早く実践的なスキルを身につけたいと考えております。



将来的には、創業支援や小規模事業者への伴走支援などを通じて、地元の賑わい創出に微力ながら貢献できるよう努力してまいりたいと思います。

まだまだ未熟者ではございますが、引き続き皆様方のご指導とご厚誼を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

野口 栄美

皆様はじめまして。2012年登録、2024年度に本協会に入会させていただきました野口栄美と申します。徳島市出身で、現在は徳島市に本社があり松山市にも支店がある港産業㈱を経営しています。

弊社は自動化を推進し、ロボット、AI、IoT等の先端技術により、お客様のスマートファクトリー、DXの実現を

サポートしています。中小企業診断士の資格も活かし、快適で持続可能な社会づくりを推進していきたいと思っています。



趣味はテニス、ゴルフです。どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

武藤 翼

### ●経歴

令和5年中小企業診断士登録の武藤翼と申します。これまで政府系金融機関、商工会議所にて勤務をした後に個人事務所として独立をしました。

### ●診断士取得の経緯

金融機関、商工会議所時代に職場の周りで診断士資格保有者が複数おり、それらの方々が経営全般について高いレベルで知識を有しており、事業者との相談の際も多くの知識の引出しでアドバイスをしていると感じ、資格取得を目指しました。

### ●現在の仕事

現在は、顧問先複数社の業績向上に向

けて長期の付き合いの中で経営支援を行っていることに加え、愛媛県よろず支援拠点のコーディネーター、愛媛県中小企業活性化協議会の外部専門家として経営改善など複数のお仕事をさせていただいております。



### ●得意分野

これまでの経験を通してお金回り(資金調達、補助金活用)のご相談を受けることが多く、加えて会社全体を俯瞰した経営改善の計画立案などについても積極的に取り組んでいます。

白石 晃一

2024年9月に会員になりました白石晃一、1969年1月生まれの現在56歳です。

松山市で生まれ、松山東高校、広島大学経済学部を卒業後、株伊予銀行に就職。営業店で営業、融資業務、本部で貸出審査や管理回収、事業再生に携わりました。愛南支店在籍中、ある企業の事業再生に関わっていたところ、代表者の不正が発覚。会社更生の債権者申立にいたるという銀行でも珍しい経験をさせていただきました。その際に REVIC の公認会計

士、中小企業診断士の方々と交流する機会があり、また、地元に何らかの形で恩返しをしたいと思い、2年間の独学を経て2022年4月に中小企業診断士の資格を取得しました。



2024年8月に株伊予銀行を選択定年退職し、翌月に開業。現在は細々とコンサルタントを営んでおります。

窪田 浩輔

2024年に入会させていただきました窪田浩輔と申します。1987年生まれ、東温市出身で、3児の父です。

2010年から2014年に銀行に所属し、その後転職で「経営計画書指導で日本一」を掲げる古田土会計（本社：東京都江戸川区）に入社しました。これまで延べ100社以上の企業さまを直接担当させていただいた他、補助金支援の新規事業立ち上げなどにも携わってきました。2024年

3月に愛媛へUターンし、松山オフィスを開設しました。「日本中の中小企業を元気にし、その社員と家族を幸せにする」という会社の理念を、本業と診断士活動の両輪で実現していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



玉井 佑樹

・経歴

1992年4月生まれ同志社大法学部卒、父が経営する歯科医療機器商社「玉井歯科商店」に入社、営業職、開業支援、基幹システム入替など幅広い業務を行なって参りました。現在は営業企画部にて営業職の販売力向上に向けた仕組み作りに取り組んでいます。

・診断士を取得した経緯

歯科医療機器販売業は長年安定産業といわれてきました。しかしECや直販メーカーの台頭、歯科医院の大型化が進み、競争環境が変化しています。経営に

対する知識や技術を体系的に身につけ、環境変化への対応力を高めるため診断士の取得を目指しました。



・今後について

歯科医院は全国約6万7千件存在し、差別化が求められ、経営課題は高度化しています。事業承継者かつ診断士としての立場を活かし、歯科診療と経営の両立を支援できる人材になりたいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

稻葉 一恵

2024年12月に入会した稻葉一恵（いなばかずえ）と申します。今年の4月に第一子を出産、慣れない子育てに奮闘中です。

◆経歴

愛知県豊橋市出身で、愛媛大学で博士号（農学）を取得しつつ大学発ベンチャーで農林水産省等のプロジェクトに従

事しておりました。その後、税理士法人に転職、現在は松山市内の中小企業で間接部門の統括をしております。



◆診断士を取得した経緯

人生の選択肢を増やしたいと思ったのがきっかけです。今年の3月に農業系

ディープテックベンチャーを起業しまして、診断士の勉強で身についた知識を実践、将来はこの経験を生かして診断先様のお役に立てればと構想しております。

◆最後に

可能な限り協会の活動に参加したいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻のほど、どうかよろしくお願ひいたします。

梶谷 侑生

2024年に診断士登録を受け、入会いたしました、梶谷侑生(かじたにゆうき)と申します。1993年生まれ、宇和島市出身の32歳です。

■経歴

下関市立大学を卒業後、愛媛県内金融機関にて法個人融資業務に6年間従事したのち、愛媛県中小企業団体中央会へ転職し、組合支援業務に従事して現在4年目です。

■診断士取得経緯

前職の銀行員時代に、中小企業支援に対する自分の無力を痛感し、質の高い支援ができるようになりたい！と奮起し、勉強を始めました。1次試験合格後、職場の上司に無理を言って診断士養成課程を半年間受講させていただき、実習を受けたうえで診断士を取得しました。

御指導、御鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



鈴木 知子

京都から松山にUターンし、この4月に入会させていただきました鈴木知子と申します。

前職では商工会議所にて、創業予定者や中小企業経営者のご支援をしておりました。心掛けていたのは、課題解決への最初の一歩、「やってみよう！」と思えるアクションを見つけていただくことです。コンビニやメーカーでのマーティング、公私を問わず浅くとも幅広い経験を活かし、商品開発や店舗づくりの壁打ち相手、融資実行に繋がる事業計画

作成のサポートにやりがいを感じております。

つい先日まで通っていた、住宅建設や建築CADを学ぶ講座も無事修了いたしました。

今後は協会の事業などに積極的に参加させていただき、愛媛の皆さまのお役に立てるよう、一つひとつ丁寧に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



玉置 卓也

はじめまして。西条市で在宅医療マッサージ事業「西条訪問マッサージ」を運営するとともに、古物商としてPC等の再生販売も行っております。

独立して七年が経過し、事業は継続できている一方で、近年は成長の実感が薄れています。

そこで、自身の経営を見直すとともに、体系的に経営を学びたいと考え、中小企業診断士の資格取得を志しました。

今後はこれまでの実務経験を活かし、小規模事業者や個人事業者の経営改善、創業支援、デジタルを活用した販促支援などに取り組んでいきたいと考えております。

地域の皆さんと共に成長できるよう努めてまいります。



井上 太志

はじめまして。井上太志（いのうえたし）と申します。1986年生まれで現在は兵庫県西宮市に住んでいます。

生まれは愛媛県八幡浜市で、愛光学園を卒業後、阪大に進学しました。その後東大大学院を卒業し、現在は広告代理店でマーケティングや広報・宣伝を中心とした業務に携わっています。

居住地と異なる愛媛県の診断士協会に入ったのは、何らかの形でこれまで自

分を育ててくれた地元や産業と関わっていきたいと考えたためです。

距離は離れておりますが、なるべく愛媛に行く機会を増やしていきたいと考えております。皆様、是非仲良くしていただけると幸いです。



## 編集後記

久しぶりの発行となりました会報誌「しんあい」を、会員の皆さんにお届けできることを嬉しく思います。発行までに時間を要しましたが、その間も協会では各種研修や支援活動、会員同士の交流が着実に行われてきました。本誌を通じて、こうした協会活動の一端をお伝えできれば幸いです。今後も内容の充実を図

りながら、会員の皆さんにとって有益で、つながりを感じられる会報を目指してまいります。今年一年、協会活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。令和8年も引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

—— 広報委員会